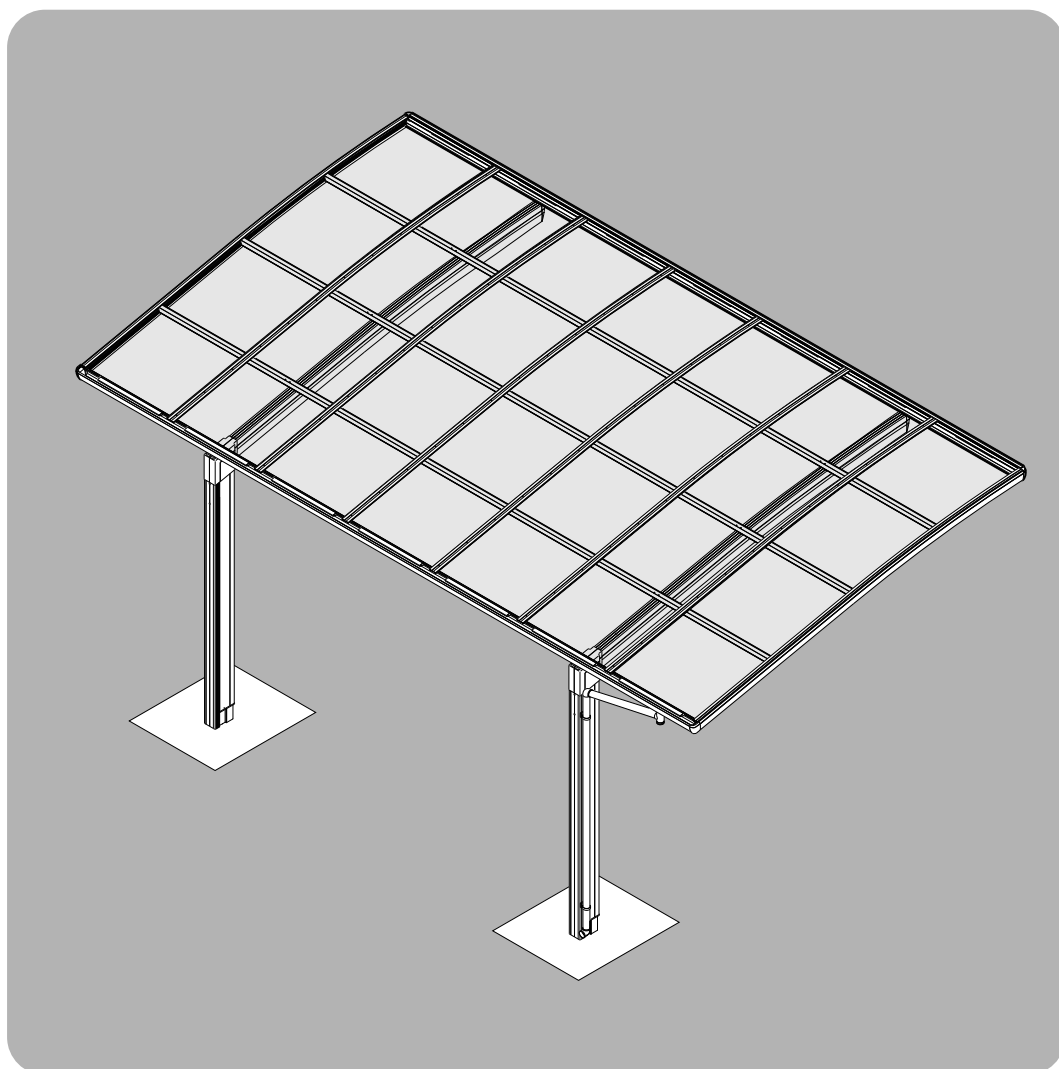


カーブポートシグマⅡ 木目調

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。
ご留意いただき、施工してください。

目次

■取付けされる方へのお願い	P1・2
■構造説明図	P3
■取付け順序	P4～14
●基本タイプ	P4～8
1.基礎の施工	P4
2.柱とはりの取付け	P4
3.前枠・母屋・後枠の取付け	P5
4.側枠・アーチの取付け	P6
5.屋根パネルの取付け	P6
6.アーチカバー・側枠カバーの取付け	P7
7.縦どいセットの取付け	P8
●M合掌の取付け	P9・10
1.基礎の施工	P9
2.本体の組立て	P9・10
●Y合掌の取付け	P10・11
1.基礎の施工	P10
2.本体の組立て	P11
●縦連棟の取付け	P12～14
1.基礎の施工	P12
2.本体の組立て	P13
3.M合掌・Y合掌の縦連棟	P14
■納まり図	P15～18
■梱包明細書	P19・20

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

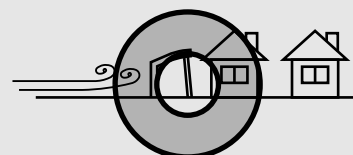
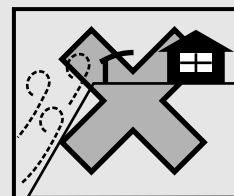
- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・カーブポートシグマⅡ木目調（一般地域用900タイプ）は積雪（新雪）30cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- ・風当たりの強い場所に設置する場合や、サイドスクリーンを取付ける場合は、補助柱で製品の補強をした上、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、又は風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）

●部材の固定

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

●基礎

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。



▲ 注 意

● 施工

- ・ 指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
- ・ 必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

※ 水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

● シーリング処理

- ・ 指定の個所にコーキング材を充てんしてください。

※ 製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

● 絶縁処理

- ・ 亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ型材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■ 取付け上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。施工に支障が出るおそれがあります。
- 屋根の上には物をのせないでください。
- 取付けは、専門業者の方が行ってください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。

■構造説明図

Exploded view diagram of a roof structure showing various components and their assembly order. The diagram includes labels for structural elements like rafters, purlins, and roof panels, as well as fasteners like screws and bolts. A small inset shows the foundation and column details with dimensions.

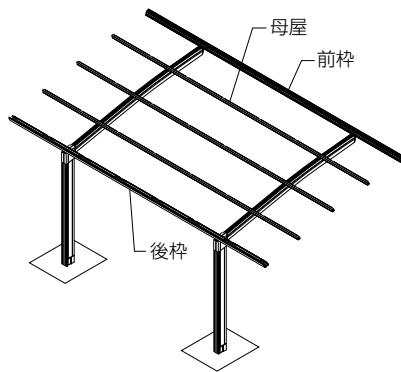
Labels and Components:

- ワッシャーヘッドタッピンねじ (2種) $\phi 4 \times 10$
- ナベテクスねじ $\phi 4 \times 13$
- ワッシャーヘッドタッピンねじ (2種) $\phi 4 \times 10$
- 6 アーチカバー
- 4 アーチ
- ロットNo. 表示位置
- ナベテクスねじ $\phi 4 \times 13$
- 5 屋根パネル
- ワッシャーヘッドタッピンねじ (2種) $\phi 4 \times 10$
- 2 はりキャップ
- 3 前枠
- 六角ボルト (Wセムス) M8 $\times$ 25
- 2 ブラケット
- 皿タッピンねじ (2種) $\phi 5 \times 20$
- 2 ブラケット カバー化粒材
- 皿タッピンねじ (2種) $\phi 5 \times 60$
- 皿タッピンねじ (3種) $\phi 4 \times 20$
- 2 柱化粧材2
- 2 柱
- ナベテクスねじ $\phi 4 \times 25$
- 1 基礎
- ぐり石
- 水抜き穴 ($\phi 6$) 現場加工
- アンカー棒
- パネル押え
- 3 後枠
- 2 柱化粧材1
- 2 柱化粧材キャップ
- 3 前枠コーナーキャップ
- 4 側枠 (左右勝手あり)
- 6 側枠カバー
- 3 母屋
- 2 はり
- 3 後枠コーナーキャップ
- トラスタッピンねじ (3種) $\phi 5 \times 14$

Foundation and Column Details (Inset):

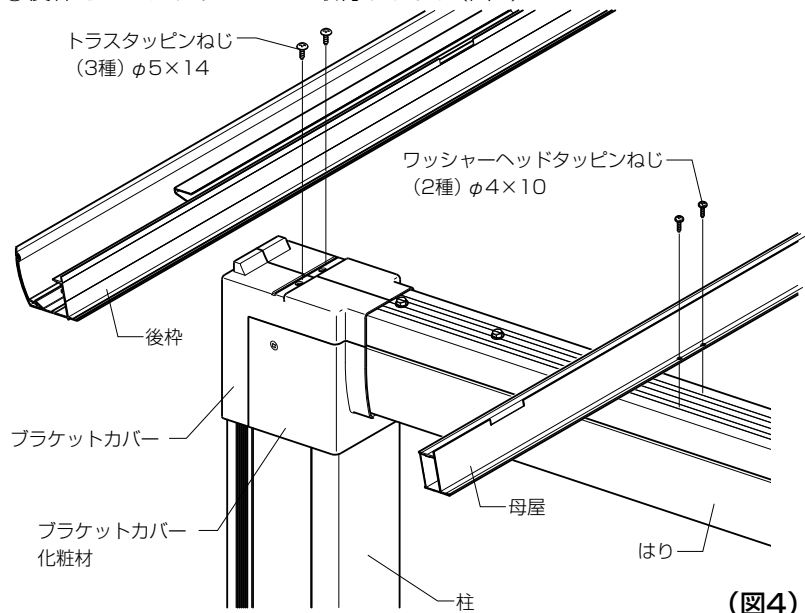
- Dimensions: 600 (700), 350 (400), 700 (800), 550, 100
- Components: ぐり石, 水抜き穴 ($\phi 6$) 現場加工, アンカー棒

③ 前枠・母屋・後枠の取付け



③ 前枠・母屋・後枠の取付け

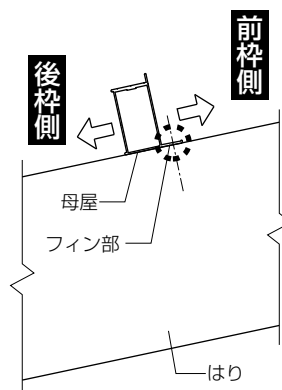
①後枠をブラケットカバーに取付けます。(図4)



(図4)

②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図5)

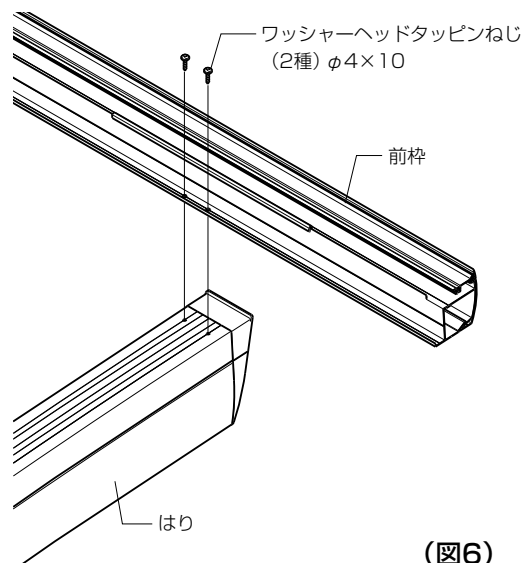
(図5) ※前枠側に必ずフィン部を向けてください。



③前枠をはりに取付けます。

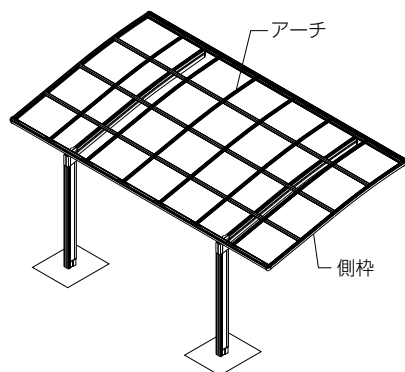
※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。

※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。



(図6)

■4 側枠・アーチの取付け

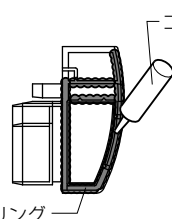
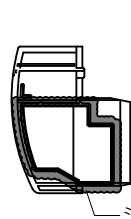


■4 側枠・アーチの取付け

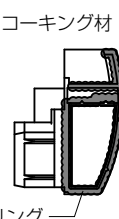
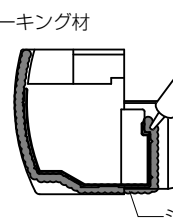
- ①前・後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし(図7)、側枠に取付けます。
※側枠には左右があります。切欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図8)
- ②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。
- ③アーチの前後を確認し(図8)、取付けます。(図9)
- ④屋根枠周りの対角・水平出しおよび柱の垂直出しをします。

■シーリング箇所（図7）

●前枠コーナーキャップ

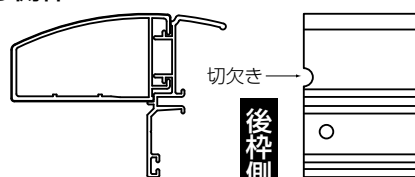


●後枠コーナーキャップ



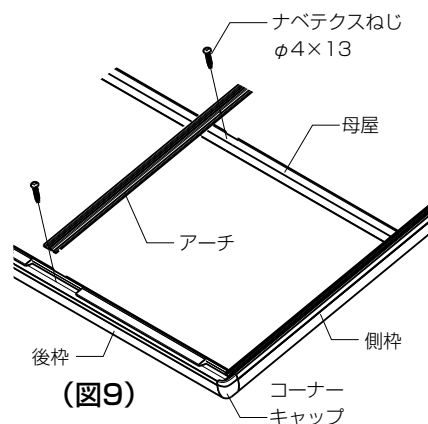
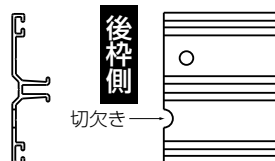
●側杵

(図8)



●アーチ

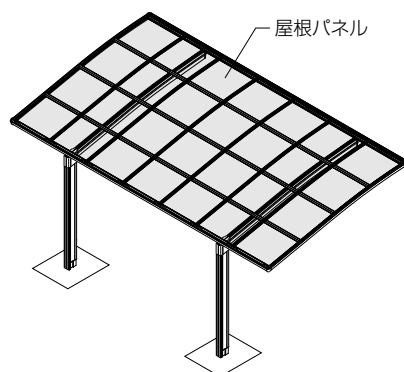
後



お願い。

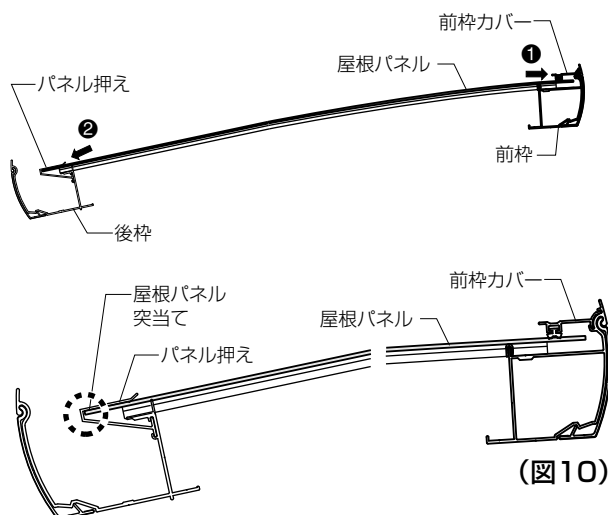
※前・後枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に
合わせ、ナベテクスねじφ4×13で止めてください。

5 屋根パネルの取付け



【5】屋根パネルの取付け

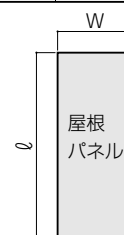
- 屋根パネルを前枠力バーに差込み、パネル押えに差込んでください。
※屋根パネルは後枠側に突当ててください。(図10)
※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。



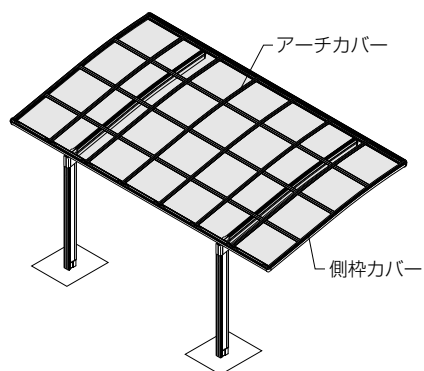
■屋根パネル寸法表

单位mm

サイズ呼称	ℓ	W
24	2388	689
25.5	2541	
27	2694	
30	3018	

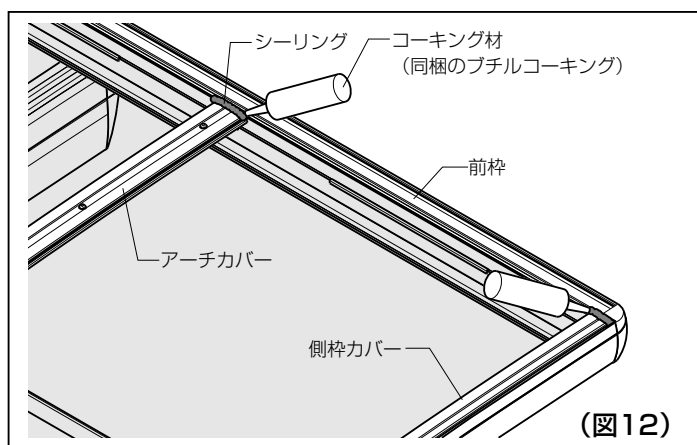
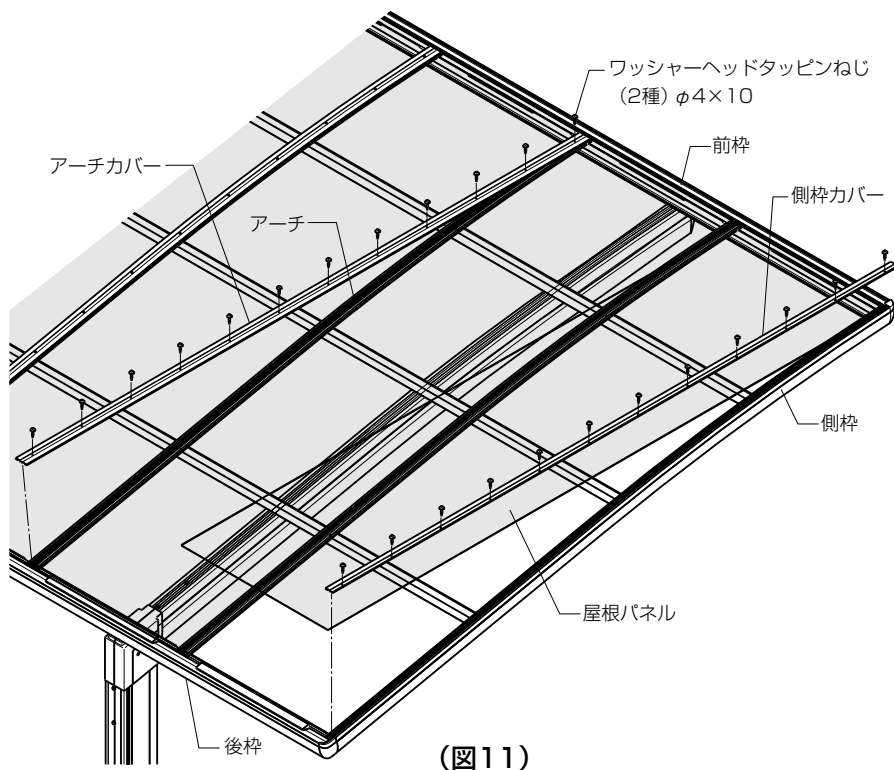


6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

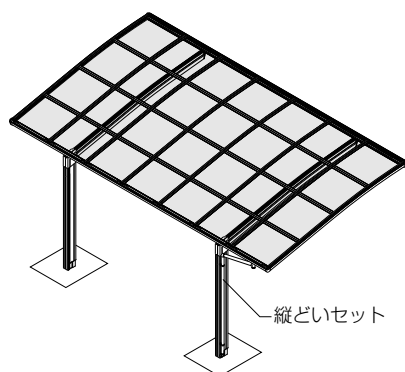


6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

- ①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突当てます。
- ②側枠カバー、アーチカバーと前枠側からアーチにねじ止めします。(図11)
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
- ③側枠カバー、アーチカバーと前枠との間にコーキング材を充てんします。(図12)



7 縦どいセットの取付け



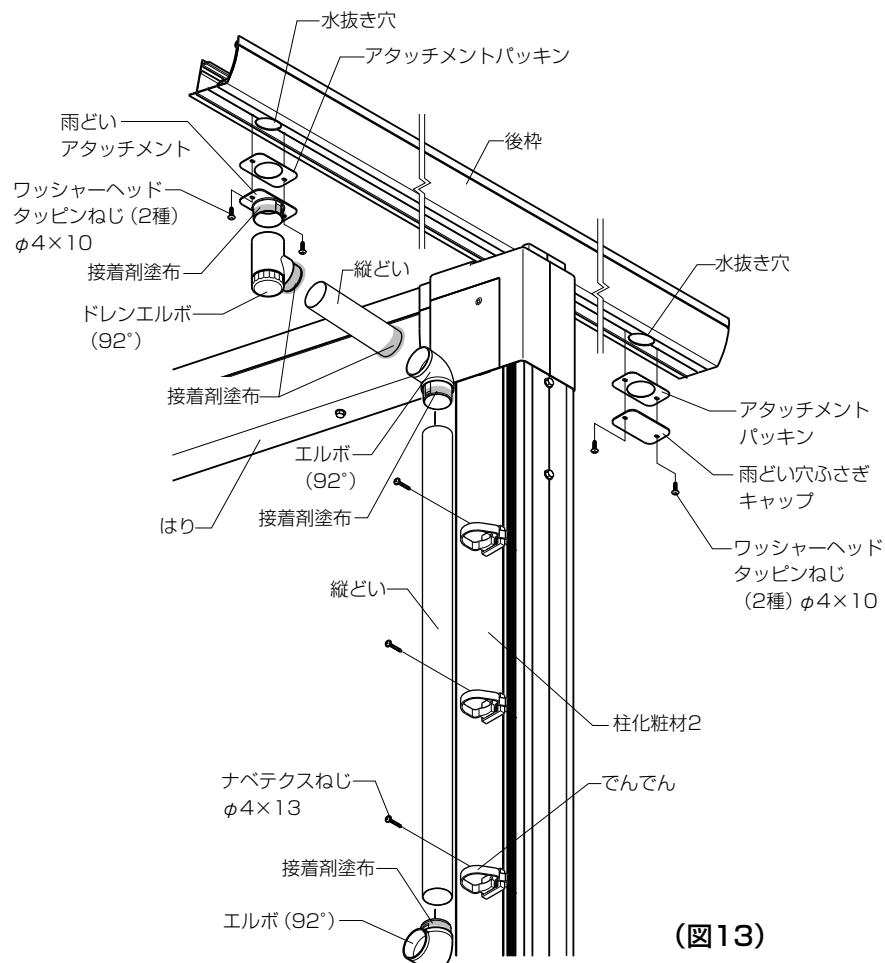
7 縦どいセットの取付け

①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。(図13)

②もう一方の穴に雨どいアタッチメント(穴ふさぎ)を取付けます。(図13)

※でんでは柱化粧材2にかからないように柱本体に取付けてください。

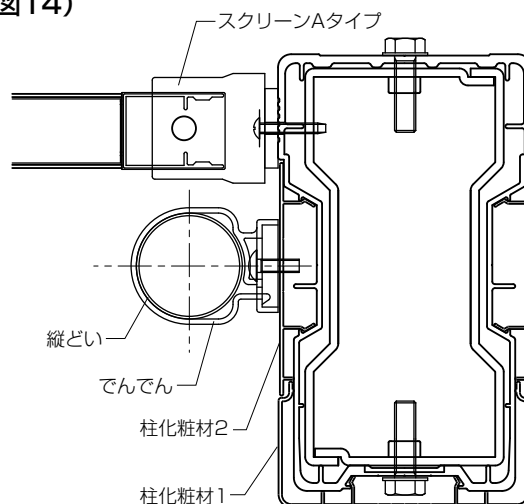
※スクリーンAタイプ(縦使い)を取付ける場合は、柱の中央に取付けてください。(図14)



(図13)

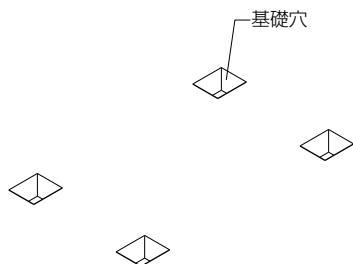
■スクリーンAタイプ取付け時の納まり

(図14)



■M合掌の取付け

1 基礎の施工



1 基礎の施工

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。
- ※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

- ※柱の移動は±100mm以内です。
- ※2点鎖線は屋根投影サイズを示します。
- ※()内寸法は56サイズの場合を示します。

■墨出し位置

単位mm

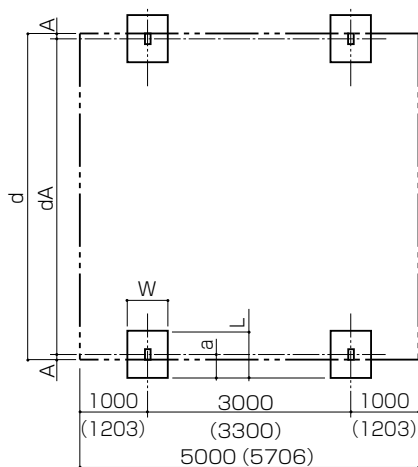
サイズ呼称	d	dA	A
24+24	4816	4653	81.5
25+25	5116	4953	81.5
27+27	5416	5253	81.5
30+30	6014	5849	82.5

■基礎寸法

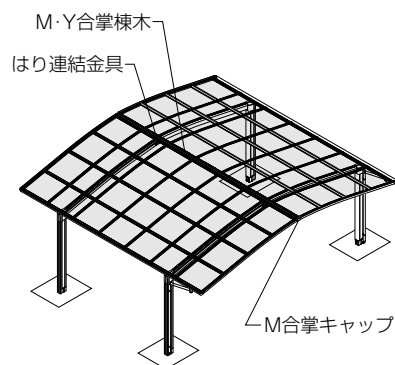
単位mm

サイズ呼称	土間コンなし			土間コンあり		
	W	L	a	W	L	a
24+24	600	700	350	300	400	200
25+25	600	700	350	300	400	200
27+27	600	700	350	300	400	200
30+30	700	800	400	300	500	250

【土間コンなしの場合】

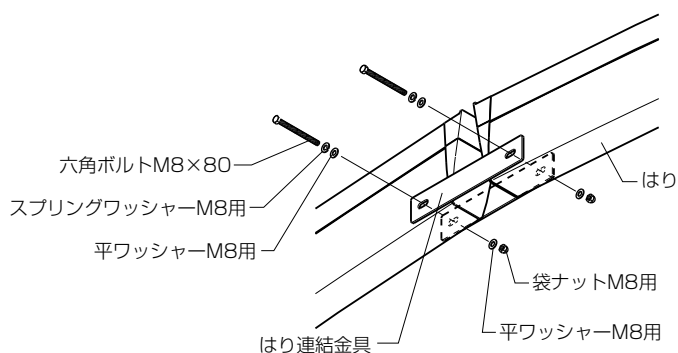


2 本体の組立て

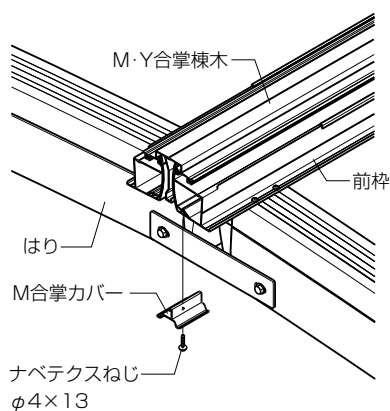


2 本体の組立て

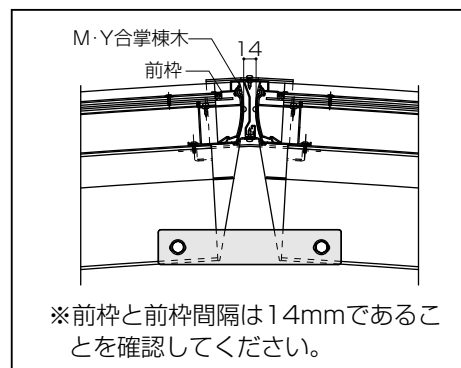
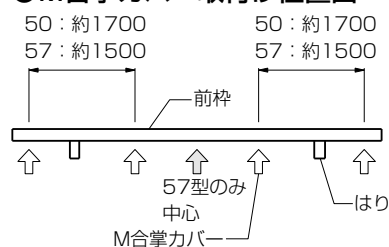
- ①柱・はりを組立てて建込み、はりのプッシュボタンを外した後、はりとはりをはり連結金具で接続します。



②M・Y合掌棟木を前杵と前杵の間にのせ、M合掌カバーで固定します。



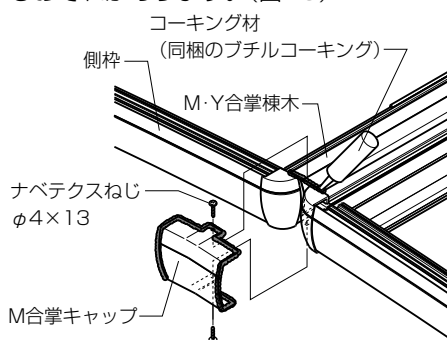
●M合掌カバー取付け位置図



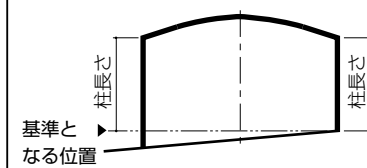
③M合掌キャップを取付けます。

※M合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。

※基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。(図15)



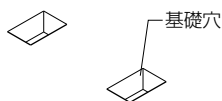
■柱長さについて (図15)



※キャップ固定後、周りにシーリングしてください。

■Y合掌の取付け

1 基礎の施工



1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。

※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

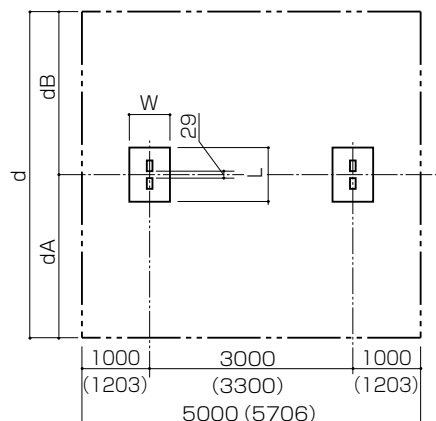
※アンカー棒 (φ8×200) は必ず柱に取付けて施工してください。

■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
※2点鎖線は屋根投影サイズを示します。

※ () 内寸法は57サイズの場合を示します。

【土間コンなしの場合】

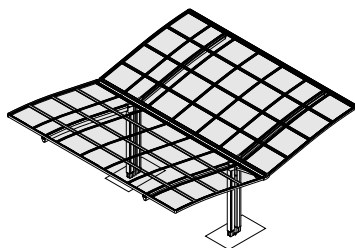


■基礎寸法

単位mm

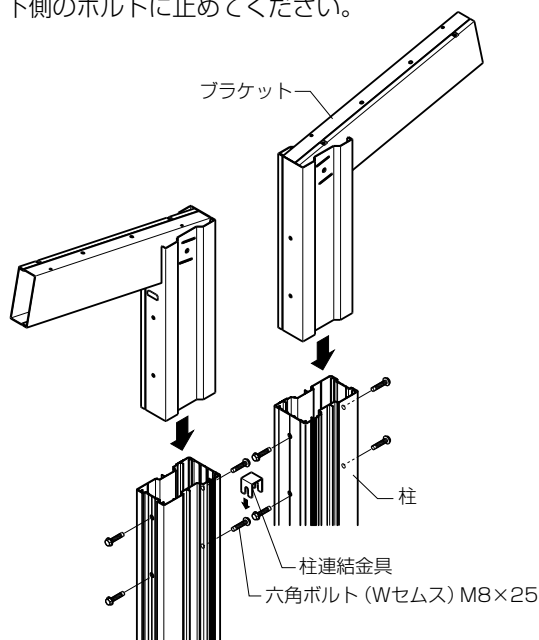
サイズ呼称	d	dA、dB	土間コンなし		土間コンあり	
			W	L	W	L
24	4816	2414	600	800	300	600
25	5116	2564	600	800	300	600
27	5416	2714	600	800	300	600
30	6014	3013	700	900	300	600

2 本体の組立て

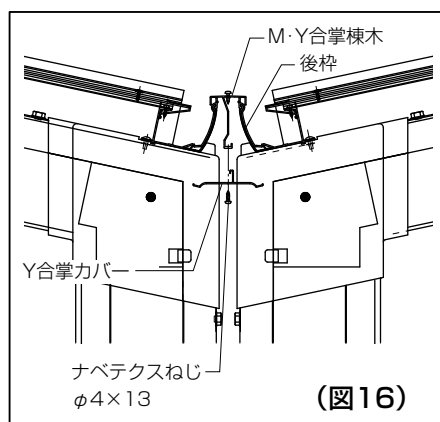


2 本体の組立て

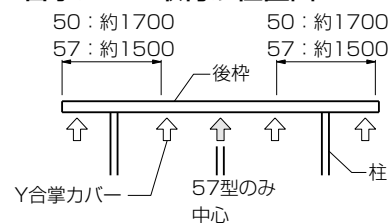
- ①柱にブラケットを差込み、柱前面のみ固定してください。
 - ②合掌面側のボルトを軽く締め、すき間に柱連結金具を差込み固定してください。
(柱と柱のすき間は29mmです。)
- ※柱の上面は同一高さにしてください。
※柱連結金具は、下側のボルトに止めてください。



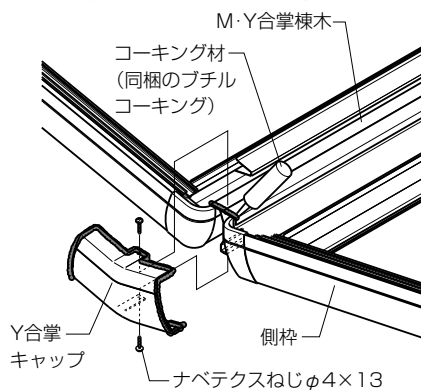
- ③M・Y合掌棟木を後枠の間にのせ、Y合掌カバーで固定します。(図16)



●Y合掌カバー取付け位置図



- ④Y合掌キャップを取付けます。
※Y合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。



※キャップ固定後、周りにシーリングしてください。

■縦連棟の取付け

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。

※基礎構造については基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。

※〈 〉内寸法は30サイズの場合を示します。

※()内寸法は57サイズの場合を示します。

※2点鎖線は屋根投影サイズを示します。

※100は柱移動範囲を示します。

■墨出し位置

単位mm

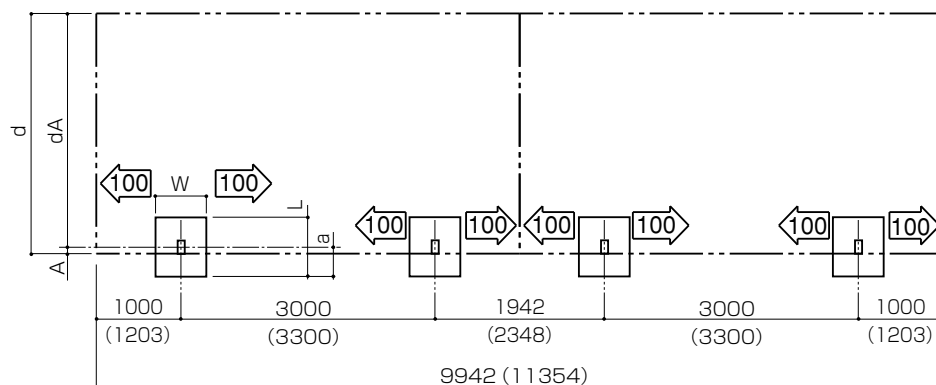
サイズ呼称	d	dA	A
24	2401	2317.5	83.5
25	2551	2467.5	83.5
27	2701	2617.5	83.5
30	3000	2917	85

■基礎寸法

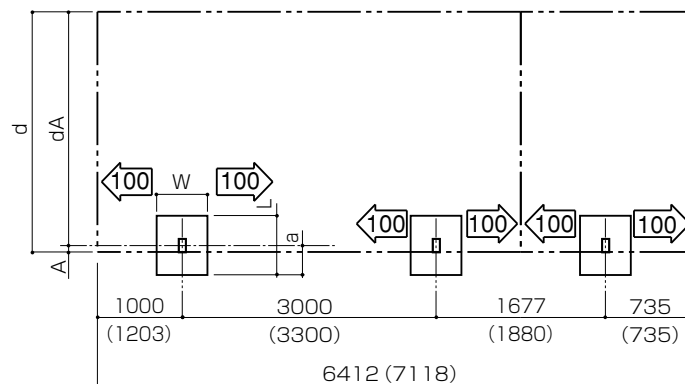
単位mm

サイズ呼称	土間コンなし			土間コンあり		
	W	L	a	W	L	a
24	600	700	350	300	400	200
25	600	700	350	300	400	200
27	600	700	350	300	400	200
30	700	800	400	300	500	250

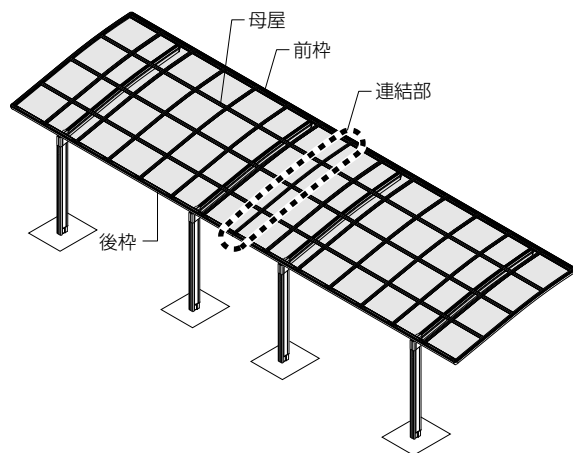
【土間コンなし、連棟の場合】



【土間コンなし、延長の場合】



2 本体の組立て



①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。
(図17)

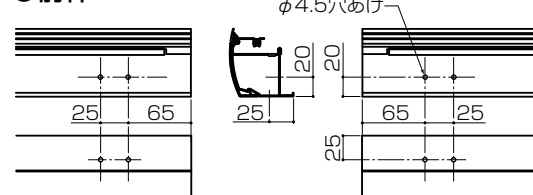
②連棟部分を組立てます。

※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。

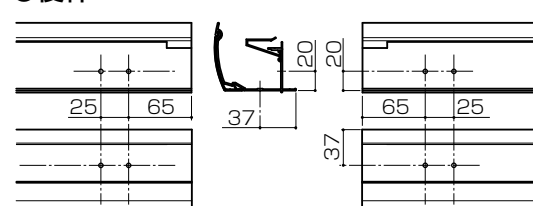
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

■前枠・母屋・後枠加工図(図17)

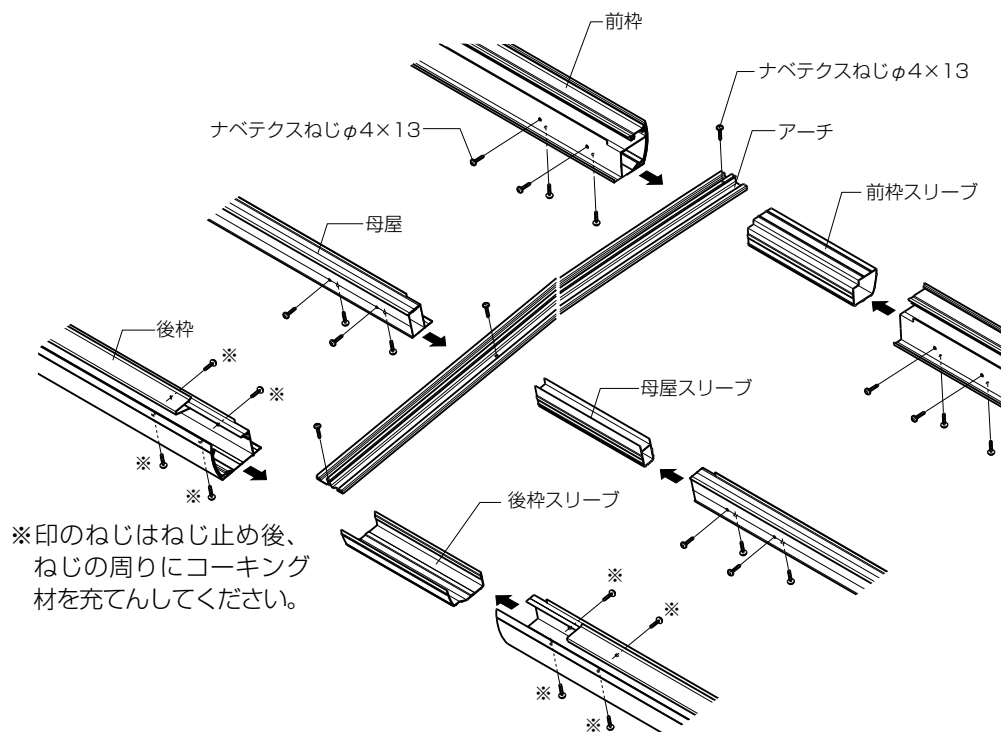
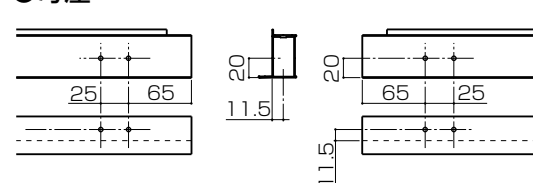
●前枠



●後枠

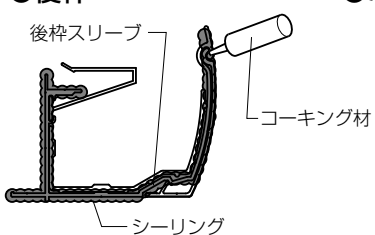


●母屋

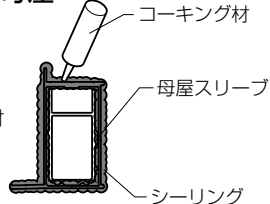


■シーリング箇所

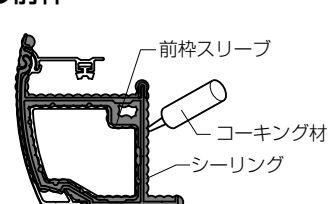
●後枠



●母屋

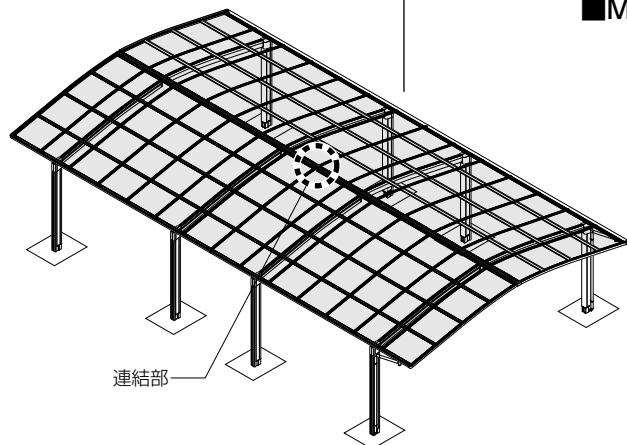


●前枠

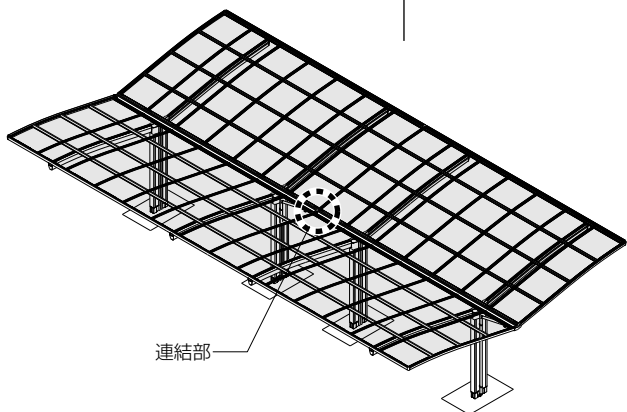


③ M合掌・Y合掌の縦連棟

■M合掌縦連棟



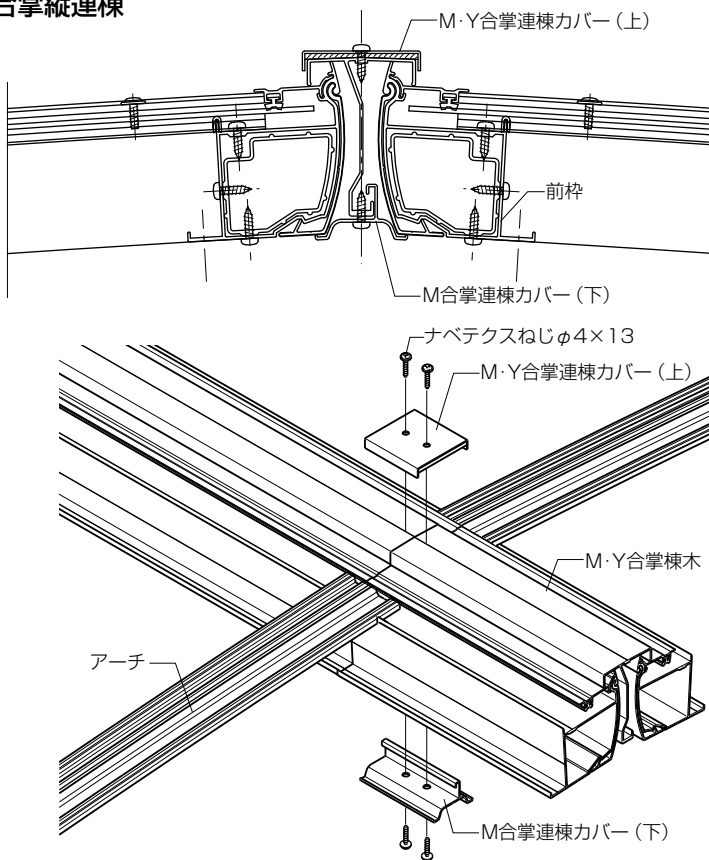
■Y合掌縦連棟



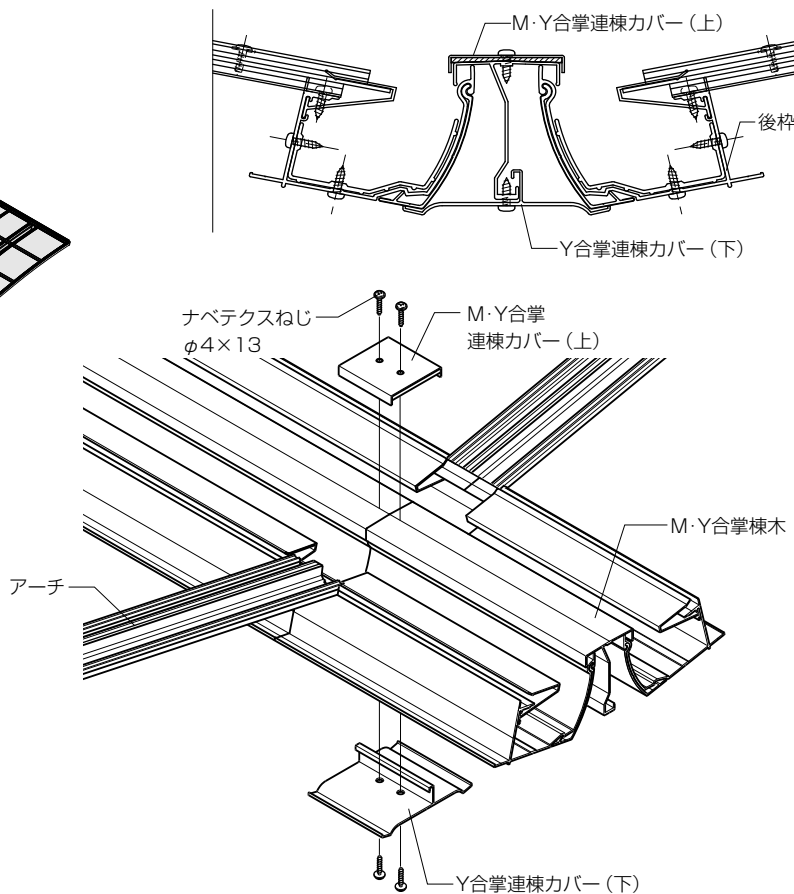
③ M合掌・Y合掌の縦連棟

●M・Y合掌の棟木の接続部に、M・Y合掌縦連棟カバー(上)、(下)を取付けます。
※連棟部以外の取付けは、M合掌・Y合掌の取付けを参照してください。

■M合掌縦連棟



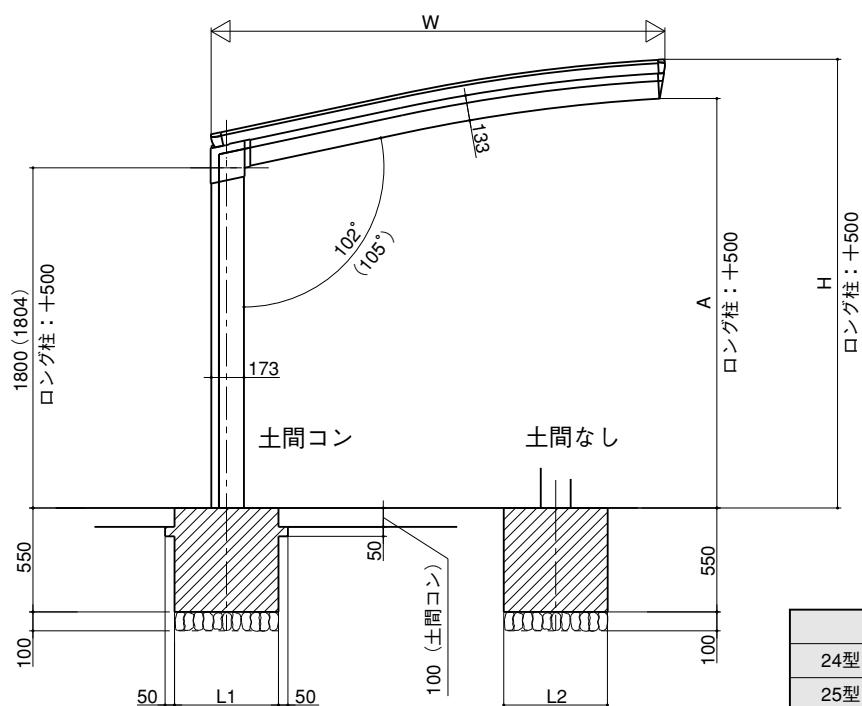
■Y合掌縦連棟



納まり図

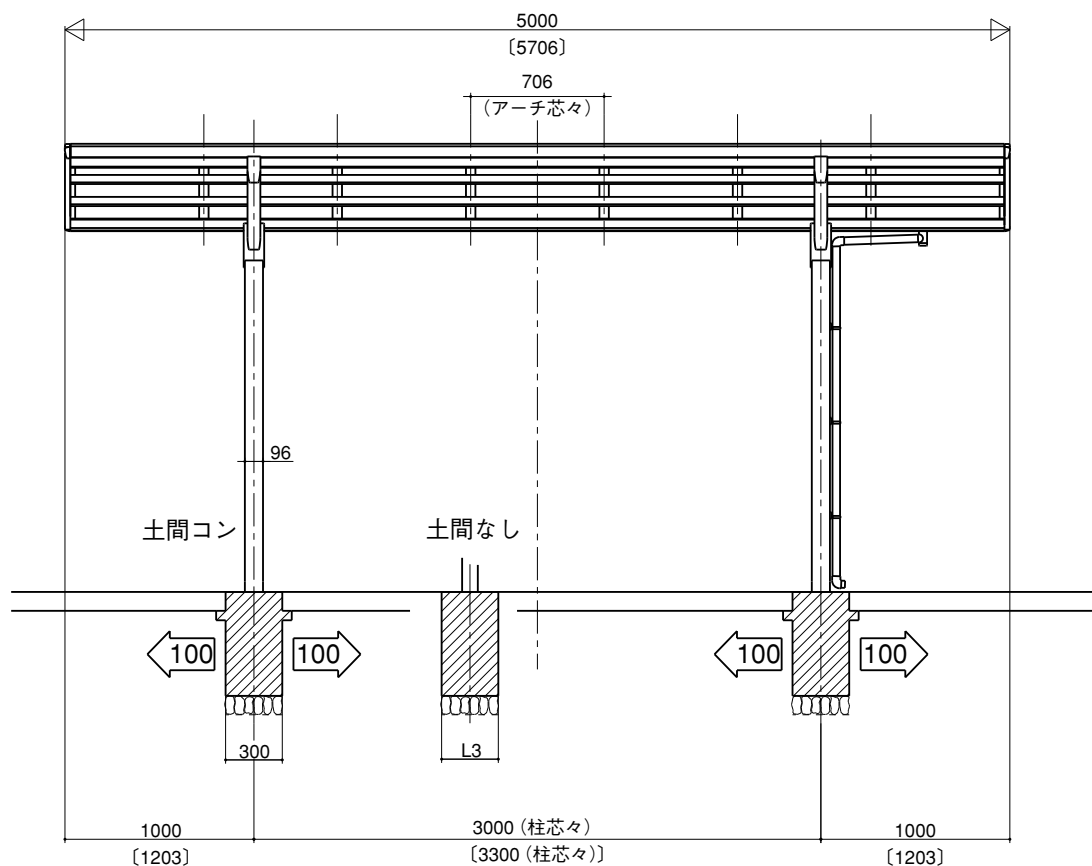
■納まり図

●基本タイプ

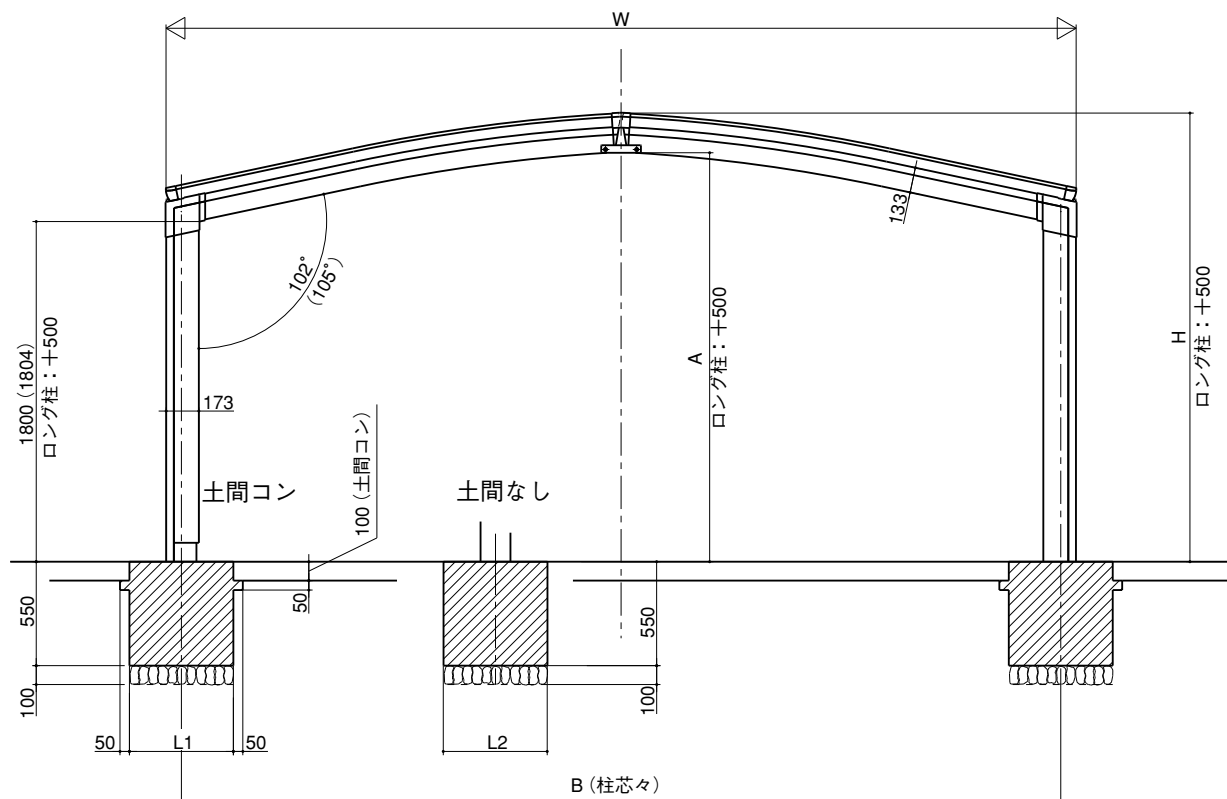


	W	H	A	L1	L2	L3
24型	2401	2370	2165	400	700	600
25型	2551	2402	2197	400	700	600
27型	2701	2434	2229	400	700	600
30型	3000	2581	2375	500	800	700

※ () 内は30型を示します。
57サイズは [] に示します。



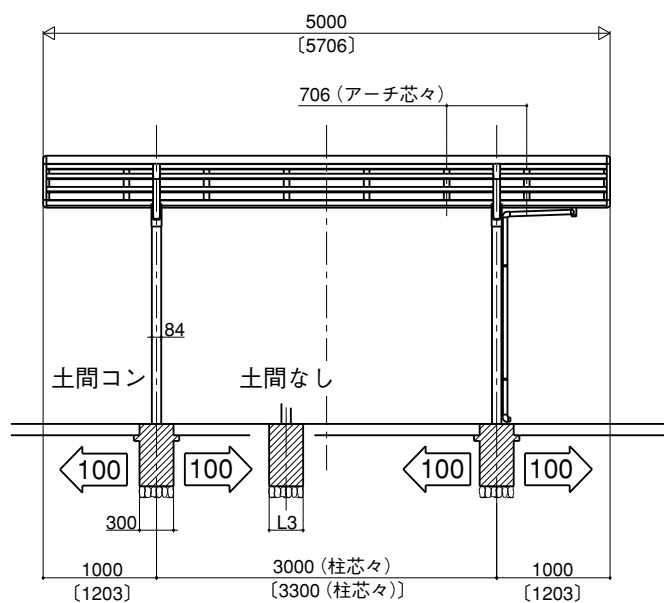
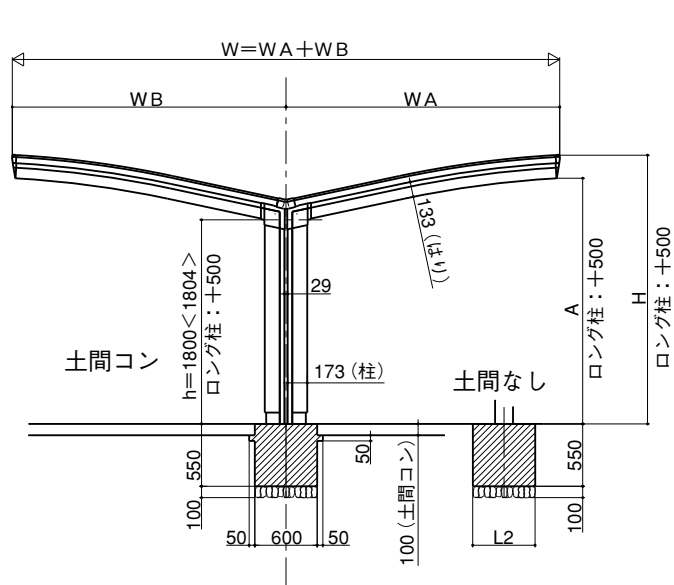
●M合掌



	W	H	A	B	L1	L2
24型+24型	4816	2374	2162	4653	400	700
25型+25型	5116	2406	2194	4953	400	700
27型+27型	5416	2438	2226	5253	400	700
30型+30型	6014	2584	2373	5849	500	800

※ () 内は30型を示します。

●Y合掌



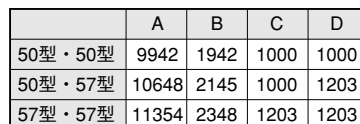
	WA、WB	H	A	L2	L3
24型	2414	2370	2165	800	600
25型	2564	2402	2197	800	600
27型	2714	2434	2229	800	600
30型	3013	2581	2375	900	700

※ () 内は30型を示します。

57サイズは [] に示します。



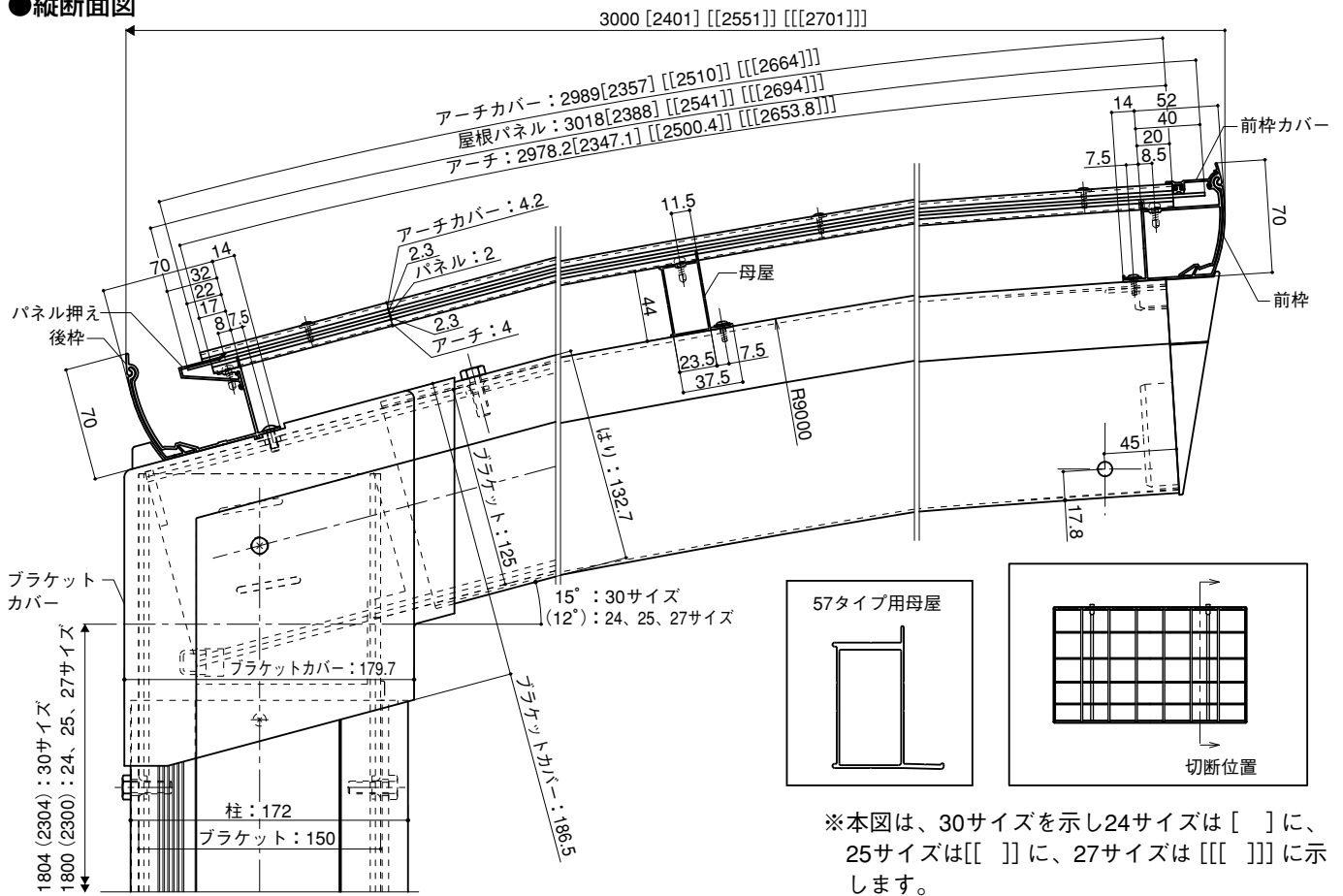
L=57サイズは、〔 〕に示します。



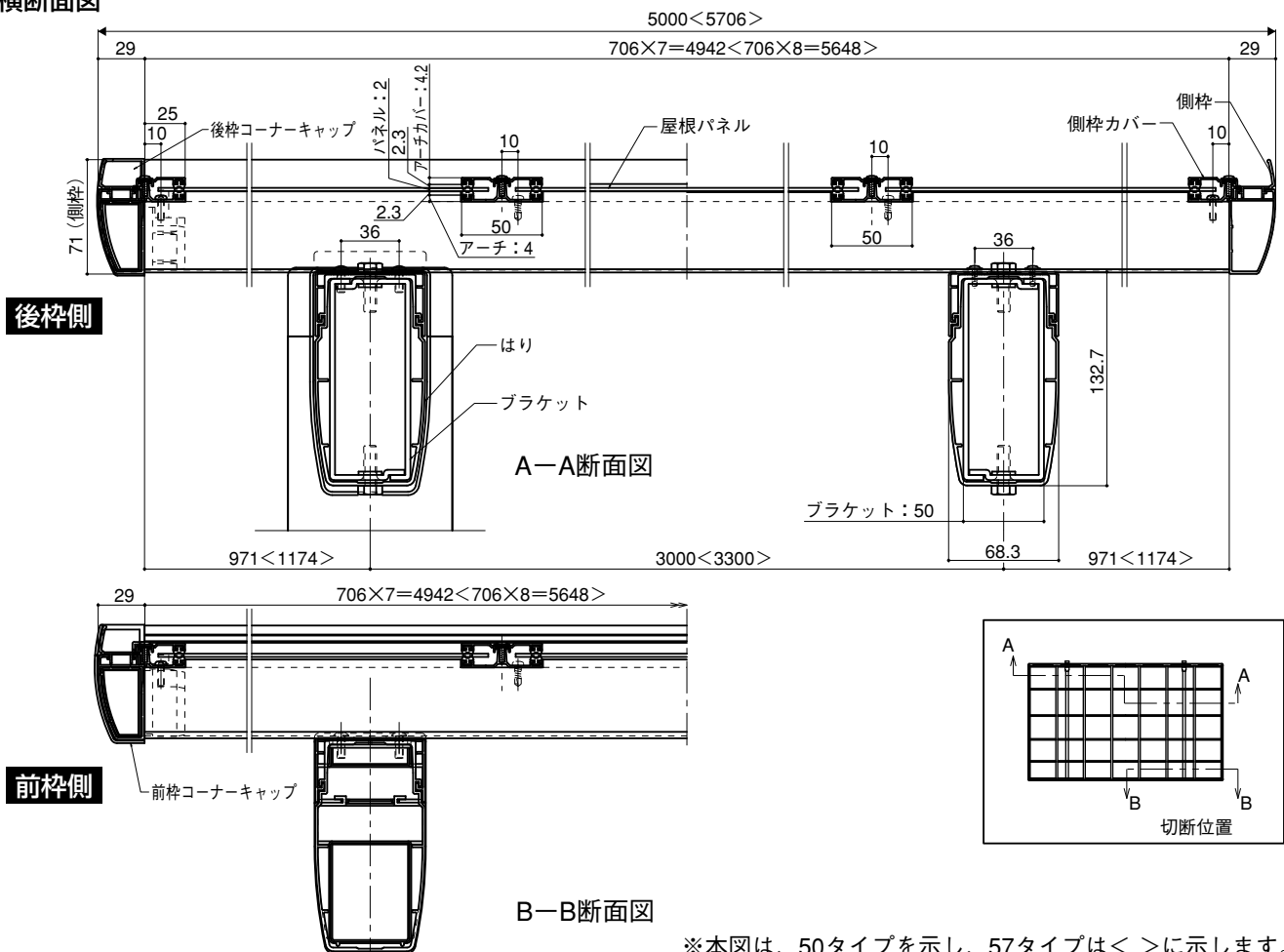
	L3
24型	600
25型	600
27型	600
30型	700

※ B寸法は連棟部

●縦断面図



●横断面図



梱包明細書

■梱包明細書

●柱セット

名 称	員 数	
	2本入	1本入
柱	2	1
柱化粧材1木目調	2	1
柱化粧材2木目調	4	2
取扱い説明書	1	—

●はりセット

名 称	員 数	
	2本入	1本入
はり	2	1

●長さセット

名 称	員 数			
	24・27用	30用	1424・27用	1430用
前枠	1	1	1	1
後枠	1	1	1	1
母屋	3	4	3	4
縦どい	1	1	—	—

●幅セット

名 称	員 数				
	50用	57用	連棟50用	連棟57用	連棟14用
側枠	左右各1	左右各1	—	—	—
側枠カバー	2	2	—	—	—
アーチ	6	7	7	8	2
アーチカバー	6	7	7	8	2

●ブラケットセット

名 称	員 数	
	1本入	2本入
ブラケット	1	2

●組立て部品セット

名 称	員 数		
	50用	57用	14用
前枠コーナーキャップ	左右各1	左右各1	—
後枠コーナーキャップ	左右各1	左右各1	—
はりキャップ	2	2	1
ブラケットカバー	左右各2	左右各2	左右各1
ブラケットカバー化粧材	2	2	1
柱化粧材キャップ	2	2	1
雨どいアタッチメント	1	1	1
穴ふさぎキャップ	1	1	1
アタッチメントパッキン	2	2	2
ドレンエルボφ40用	1	1	1
92° エルボφ40用	2	2	2
雨どいでんでん	3	3	3
接着剤	1	1	1
アンカー棒 (φ8×200)	2	2	1
プチルコーキング (100g)	1	1	1
穴隠しシール (φ15)	21 (26)	21 (26)	10 (13)
六角ボルト (Wセムス) M8×25	14	14	7
トラスタッピンねじ (3種) φ5×14	4	4	2
ナベテクスねじφ4×13	47 (56)	52 (62)	14 (16)
ワッシャーヘッドタッピンねじ (2種) φ4×10 (D=10)	126 (170)	138 (187)	39 (52)
ナベテクスねじφ4×25	6	6	3
皿タッピンねじ (3種) φ4×20	4	4	2
皿タッピンねじ (2種) φ5×60	2	2	1
皿タッピンねじ (2種) φ5×20	2	2	1
取付け説明書	1	1	—

※ () は30用を示します。

●屋根パネルセット

名 称	員 数		
	1枚入	3枚入	4枚入
パネル	1	3	4

●MY合掌セット

名 称	員数
MY合掌棟木	1

●M合掌部品セット

名 称	員 数		
	50用	57用	14用
M合掌カバー材(下)	4	5	2
M合掌キャップ	2	2	—
はり連結材	4	4	2
六角ボルトM8×80	4	4	2
平ワッシャーM8用	8	8	4
スプリングワッシャーM8用	4	4	2
袋ナットM8用	4	4	2
ナベテクスねじφ4×13	8	9	2

●Y合掌部品セット

名 称	員 数		
	50用	57用	14用
Y合掌カバー材(下)	4	5	2
Y合掌キャップ	2	2	—
Y合掌用柱連結金具	2	2	1
ナベテクスねじφ4×13	8	9	2

●連棟部材セット

名 称	員 数	
	24・27用	30用
前枠スリーブ	1	1
後枠スリーブ	1	1
母屋スリーブ	3	4
部品セット	1	1

●合掌連結部品セット

名 称	員 数	
	Y合掌用	M合掌用
MY合掌連棟カバー(上)	1	1
Y合掌連棟カバー(下)	1	—
M合掌連棟カバー(下)	—	1
ナベテクスねじφ4×13	4	4

[illegible]

MAK-250A
ZJ79
2005年7月1日発行



トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので了承ください。